

財政・税制、戸籍制度改革

田中 修

はじめに

習近平総書記は6月30日、党中央政治局会議を開催し、財政・税制、戸籍制度、紀律検査体制の改革案を決定した。本稿では、このうち財政・税制と戸籍制度改革の部分を紹介する。

1. 財政・税制改革を深化させる総体方案

財政は国家ガバナンスの基礎・重要な支柱であり、財政・税制は国家を治め安定させる際に、常に基礎的・制度的・保障的役割を發揮している。わが党は、財政政策と財政・税制改革を歴代高度に重視し、中国の特色ある社会主義の発展の要求に適応する財政制度を確立する面において、たゆまず模索を進めてきた。新たな財政・税制改革は、国家のガバナンスシステムとガバナンス能力の現代化に関わる深刻な変革であり、全局に立脚し長期に着眼した制度のイノベーションである。

財政・税制改革を深化させる目標は、統一され完全で、オープン・透明で、運営効率が高く、資源配分の効率化・市場の統一の擁護・社会公平の促進に資し、国家の長期にわたる社会秩序の安定を実現する、持続可能な現代的財政制度を確立することである。

3方面の改革を重点的に推進する。

(1) 予算管理制度を改善する

予算制約を規範化し、政府の行為を規範化し、有効な監督管理を実現する。全面的に規範化された、オープン・透明な現代的予算制度を早急に確立する。

(2) 税制改革を深化させる

税制構造を最適化し、税の機能を整備し、マクロの税負担率を安定させる。法に基づく税務行政を推進し、科学的発展・社会の公平・市場の統一に資する税体系を確立し、財政収入の徴収・所得分配の調節・構造最適化の促進における税制の役割を十分發揮させる。

(3) 中央・地方政府間の財政関係を調整する

中央と地方の収入構造が概ね安定を維持する前提の下、中央と地方の収入区分を更に整理・合理化し、政府間の権限と支出責任を合理的に区分・画定する。権限と責任、執行と支出を統一し、権限と支出責任が見合った制度を確立する。

財政・税制改革は、2016年に重点政策・任務を基本的に完成し、2020年に現代的財政制度を基本的に確立する。

財政税制改革は中央と地方、政府と企業、及び部門間の権利の調整に及ぶものであり、

ささいな事から全局に影響が及ぶような激戦である。各レベルの党委員会・政府は、中央の政策決定・手配・要求を全面的に貫徹し、大局意識を強め、高度な政治的責任感と歴史的使命感により、綿密に手配しなければならない。統一的な企画・協調を重視し、程度・テンポを把握し、入念・組織的に実施し、改革が成果を得ることを確保しなければならない。

2. 戸籍制度改革の一層の推進

戸籍制度改革の加速は、億万の農業からの移転人口に影響が及ぶ重大措置である。人間本位を堅持し、能力があり都市で雇用と生活が安定している常住人口の秩序立った市民化の実現に力を入れ、都市の基本公共サービスが常住人口全てをカバーすることを着実に推進しなければならない。

積極かつ穏当に、規範的に秩序立てることを堅持しなければならない。各地方が大胆に実践し、積極的に模索することを奨励するだけでなく、地方が客観ルールを尊重し、大衆の願いを尊重するよう指導しなければならない。指標の割当や各レベルでの指標の積み増しをしてはならない。

都市に入ってから時間が長く、就業能力が強く、都市・市場競争の環境に適応できる人物を優先することにより、彼ら及びその家庭を戸籍転換により都市に根付かせ、秩序立てて人口の流れを誘導しなければならない。

都市基本公共サービスを主として現地の都市戸籍人口向けの提供から、常住人口向けの提供への転換を積極的に推進し、都市で就業・居住していてもまだ戸籍を転換していない農業からの移転人口が、都市基本公共サービスを楽しむ問題を徐々に解決しなければならない。

戸籍制度改革は十分複雑な系統的プロセスであり、統一的に企画することを堅持し、関連分野やこれに付帯する政策・制度改革と協同で推進しなければならない。農村財産権制度を整備し、農民の土地請負権・宅地使用权・集団収益分配権をしっかりと擁護しなければならない。

状況を区別し、分類して指導し、各地方は中央の総体要求と政策手配に基づき、現地の事情に合わせて適切な政策を採用し、差別化した戸籍転換政策を実行しなければならない。大中小都市・町の合理的配置を促進し、機能を相互補完させ、中小都市・町の経済集積能力を増強し、農業からの移転人口が都市で戸籍転換するために有利な条件を創造しなければならない。

(7月2日記)